

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2024年12月25日時点)

➤ **ウクライナ軍が露西部クルスク州における作戦及び露領内への無人機攻撃を継続する一方、露軍は、ウクライナ東部への攻勢及びウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続しつつ、クルスクへの攻勢を強化している模様**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約19.8万人(ゼレンスキー大統領24年12月8日)

: 死者約20万人、負傷者約40万人(WSJ24年9月17日)

: 死傷者64.8万人以上(英国防省24年10月7日)

「ウ」軍: 死者4.3万人(ゼレンスキー大統領24年12月8日)

: 死者約8万人、負傷者約40万人(WSJ24年9月17日)

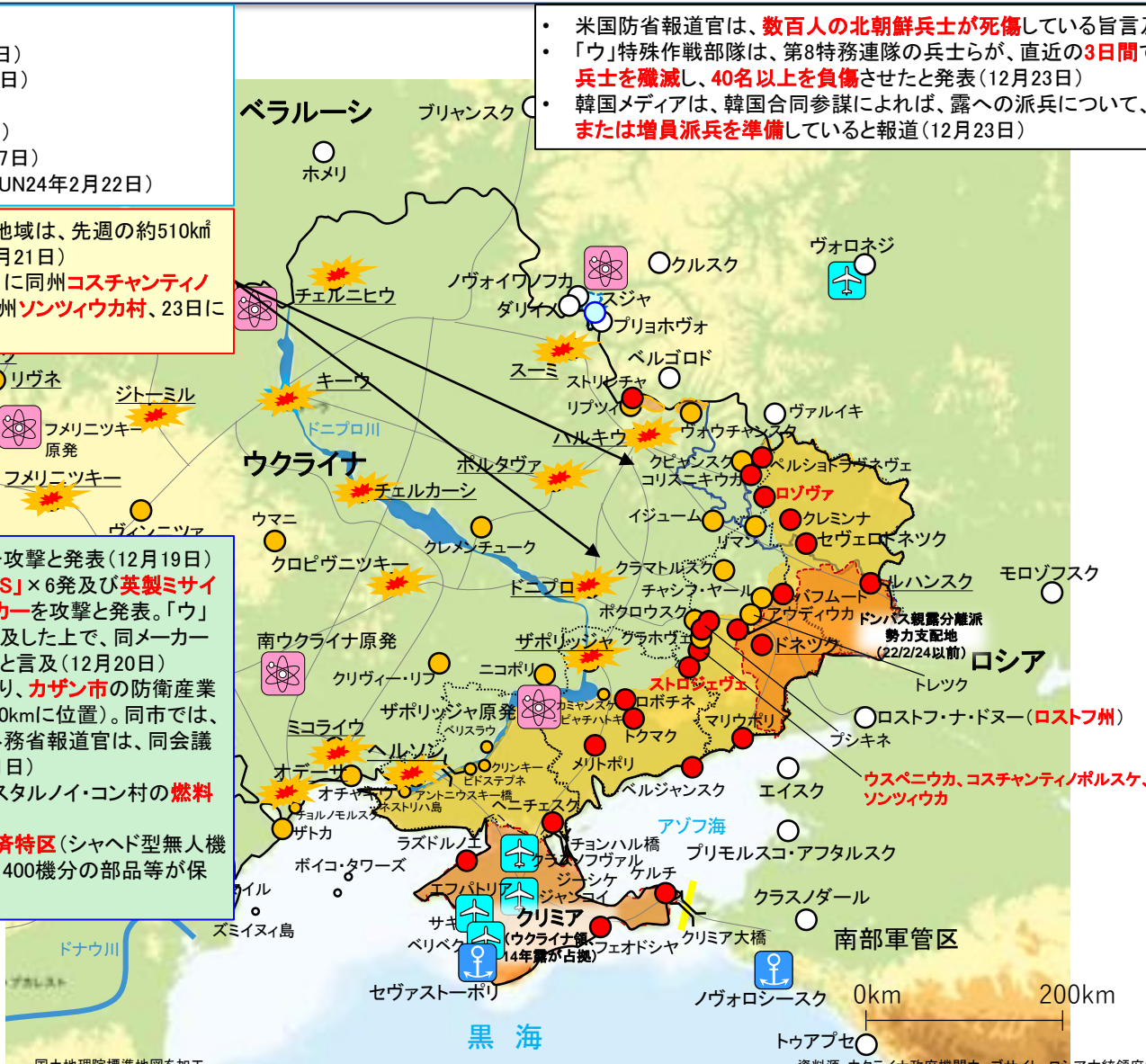
「ウ」市民: 死者10,582人以上、負傷者1万9,875人以上(UN24年2月22日)

- 英国防省は、「ウ」軍が露クルスク州で掌握している地域は、先週の約510km²から減少して、現時点では約480km²であると指摘(12月21日)
- 露国防省は、20日にドネツク州ウスペニウカ村、21日に同州コスチャンティノポリスケ村、22日にハルキウ州ロソヴァ村、ドネツク州ソイツィウカ村、23日に同州ストロジェヴェ村、を解放したと発表

- 米国防省報道官は、数百人の北朝鮮兵士が死傷している旨言及(12月19日)
- 「ウ」特殊作戦部隊は、第8特務連隊の兵士らが、直近の3日間で、77名の北朝鮮兵士を殲滅し、40名以上を負傷させたと発表(12月23日)
- 韓国メディアは、韓国合同参謀によれば、露への派兵について、北朝鮮が交代または増員派兵を準備していると報道(12月23日)

- 「ウ」軍参謀本部は、露ロストフ州の石油精製施設を攻撃と発表(12月19日)
- 露国防省は、18日に「ウ」が、米製ミサイル「ATACMS」×6発及び英製ミサイル「ストームシャドウ」×4発でロストフ州の化学メーカーを攻撃と発表。「ウ」偽情報対策センター所長は、「ウ」軍が攻撃したと言及した上で、同メーカーについて弾道ミサイル等の固体燃料を製造していると言及(12月20日)
- 露タタルスタン共和国首長は、「ウ」無人機攻撃により、カザン市の防衛産業施設や住宅へ攻撃を受けたと発表(国境から約1,000kmに位置)。同市では、今年10月にBRICS首脳会議が開催されており、露外務省報道官は、同会議の成功に対する一種の復讐である等と発言(12月21日)
- 露オリョール州知事は、「ウ」の無人機攻撃により、スタルノイ・コン村の燃料施設で火災が発生したと表明(12月22日)
- 「ウ」情報総局は、露タタルスタン共和国アラブガ経済特区(シャヘド型無人機の生産工場がある旨指摘あり)で、「Shahed-136」×400機分の部品等が保管されていた倉庫が炎上したと発表(12月23日)。

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- 👉 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- 👈 ウクライナ軍が占領した地域



国土地理院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等